



2006年看護の日 市立角館病院

「誰もが持っている『看護の心』どうぞその気持ちをいつまでもどこまでも」をテーマに、市立角館総合病院で6月1日、(社)秋田県看護協会大曲仙北地区支部会員による看護の日が開催されました。

毎年、看護週間の行事の一環として行っているもので、今年度は初めての試みとして病院公用車の車庫を開放してもらい院外での開催となりました。

当日はあいにく肌寒い天候でしたが、170名程の参加者があり、血圧測定や健康相談を行い、花の苗や風船、ポケットティッシュをプレゼントしました。

角館高校の教育実践報告

《部活動報告》

運動部にとっては、年間の活動の一番のメイン行事となる全県総体が、6月6日(火)でほぼ全種目終了しましたのでその結果を報告したいと思います。

まずはこの冬のスキー部の活躍からです。全県総体では、現3年生の金子未里さんが、女子回転競技・大回転競技の2冠を制し、また現2年生の村田知至君が男子大回転競技3位入賞するなどの成績を収め、本県鹿角市で行われたインターハイでも活躍してくれました。なお金子さんはJOCジュニアオリンピックカップ女子回転競技優勝、女子大回転競技3位、全日本ジュニアスキー選手権大会女子回転3位となるなど、これからの夏のトレーニングを経て、今期の飛躍がなお一層期待されるところです。



さて、4月からは1年生の新入部員を加え、新たな気持ちで部活動がスタートしました。

5月初めに行われた県南総体では、女子ソフトテニス部が優勝の栄冠を勝ち取り、全県総体でもベスト4に入るという素晴らしい成績を収めました。準決勝戦で惜しくも秋田和洋高等学校に敗れ決勝進出はなりませんでした。見事な頑張りを見せてくれました。また、女子剣道部が団体戦で全県ベスト8に入るなど、全体として女子生徒の活躍が目立ち、男子生徒の奮起をこれから期待したいところです。また野球部も、この春の全県大会に何大会か振りに駒を進め、7月からの甲子園予選大会でも旋風を巻き

起こしてくれることを期待しています。

文化部では、美術部の3年生高橋彩夏さんが、昨年度全県高校文化祭総合美術展でデザイン部門推奨を受賞し、今年度文化部のインターハイである全国高校文化祭に作品を出品します。また、吹奏楽部や郷土芸能の飾山獅子同好会のこれからの活躍も大いに期待されます。

昨年度大学進学や公務員試験で大きな成果を上げた本校ですが、もうひとつの柱に部活動があります。大会での活躍、勝つことはもちろん重要課題ですが、人間形成の場としても無くてはならないものと考えています。生徒・職員一丸となり、これからも頑張っていきます。